

Y06a Mitaka を活用した教員免許更新講習

福田尚也, 森原早有理 (岡山理科大学)

平成 21 年度より教員免許更新制が始まり、教員免許を維持するためには大学等で開講されている免許状更新講習を受講する必要がある。岡山理科大学では、数学と理科、技術・工学の教員を対象とした講習を初年度より行っている。私は理科の講習の一部を担当し、Mitaka を用いた天文教育を題材として 7 年間継続して行ってきたので、それについて報告する。講習は、教員が Mitaka を授業等で活用してもらえるようにすることを目標とし、コンピュータ実習室を用いて Mitaka をインストールしたコンピュータを 1 台ずつ割り当てて実習形式で行った。

岡山理科大学の理科の講習の受講者は年によってばらつきはあるが平均 23 名であった。中学教員が 50%、高校教員が 40% であり、小学校教員は合計 2 名と極めて少ない。受講者の出身県は地元の岡山県が 71% と大多数を占める。ついで広島県 10%、兵庫県 7%、他県 12% である。他県は大学出身の OB の教員の方が多い。受講者に対して Mitaka の使用について調査をしたところ、Mitaka をインストールしたことがある教員は見受けられるが、活用できている例は極めて少ない。Mitaka を試用したことがあるが、使いこなせていない例も多い。これは、プラネタリウムモードから宇宙空間モードに切り替えることにおいて所定の手順が必要であることや、Mitaka を軽快に動作させるためには、現在のパソコンでも GPU が重要であることが原因として考えられる。

天文教育が必修である中学教員を直接指導できること、物理・化学・生物の高校教員にも Mitaka を体験してもらえることから一定の天文教育普及の効果が認められると考えられる。実習後のアンケートにも Mitaka を授業で活用したいなどの感想が多くある。ただし、受講者の多くは岡山県であり、普及の範囲は限定的である。